

平成 24 年 2 月 13 日

各 位

株式会社 宮崎銀行

「日本 SME 格付け」取得の取り次ぎについて

株式会社宮崎銀行（頭取 小池 光一）は、平成 18 年 10 月から「中堅・中小企業向け格付け取得サービス」として、「日本 SME 格付け」の取り次ぎ業務を開始しております。このたび、アイ・ホーム株式会社様（宮崎市佐土原町 代表取締役 田村 寛治）の「日本 SME 格付け」取得の取り次ぎを行い、同社が格付けを取得されましたのでお知らせします。

「日本 SME 格付け」とは、グローバルに格付け業務を展開するスタンダード＆プアーズ（以下、S&P）と中堅・中小企業データベースを運用する日本リスク・データ・バンク株式会社（以下、RDB）が、共同開発した中堅・中小企業を対象とする信用格付けです。

記

取得企業様の概要

社 名	アイ・ホーム株式会社 代表取締役 田村 寛治
所 在 地	宮崎市佐土原町下那珂 3569-7
資 本 金	20 百万円
業 種	建築業（ハウスメーカー）
年 商	26 億円（H23/8 月期）
従 業 員 数	68 名
取 得 格 付	『 a 』 7 段階評価のうち上位から 3 番目
取 得 日	平成 23 年 12 月 6 日
取 得 理 由	県内トップクラスの注文住宅会社として確固たるブランド力を確立し、安定的受注を得ている。経営内容の健全性を客観的に示すため、平成 19 年 2 月以降、格付けを継続取得している。今後は住宅に係るワン・ストップサービスを新築、リフォーム、建売、不動産販売の幅広い分野で実現していく計画である。

※「格付け取得」によるメリット（効果）は、S&P という国際的にも通用する格付け機関からの客観的な評価を得られることで、①顧客からの信頼度アップ②社員のモチベーションアップ③自社 PR の活用④優秀な人材の確保等が挙げられます。

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社宮崎銀行 営業統括部
担当：平野 TEL：0985-32-8223

参 考

1. 「日本 SME 格付け」サービスの概要および当行取り扱い業務の内容について

- ◆ グローバルに格付け業務を展開する「スタンダード＆プアーズ（S＆P）」が長年にわたって構築してきた格付け技術と、中堅・中小企業データベースを運用する「日本リスク・データ・バンク株式会社（RDB）」が保有する莫大なデータを融合させて開発された中堅・中小企業を対象とする信用格付けサービスです。
- ◆ 中立的な立場から付与される信用格付けは、お客さまの信用力の透明性を高めます。
- ◆ 格付けサービスの対象企業は、売上高 5 億円～100 億円の日本国内の非上場の中堅・中小事業会社です。（金融業、学校、病院などは対象外）
- ◆ 当行は平成 18 年 10 月 5 日から上記サービスの取り次ぎ業務を開始しております。

2. 「日本 SME 格付け」サービスの評価基準 （7 段階で表示されます。）

日本 SME 格付けの定義	
aaa	スタンダード＆プアーズの見方では、日本の中堅・中小企業間の比較において、債務を履行する能力は極めて高い。スタンダード＆プアーズが付与する日本 SME 格付けのなかで最上位の格付け。
aa	日本の中堅・中小企業間の比較において、債務を履行する能力は非常に高く、最上位の格付け（aaa）との差は小さい。
a	日本の中堅・中小企業間の比較において、債務を履行する能力は高いが、上位 2 つの格付けに比べ、事業環境や経済状況の悪化からやや影響を受けやすい。
bbb	日本の中堅・中小企業間の比較において、債務を履行する能力は適切であるが、事業環境や経済状況の悪化によって債務履行能力が低下する可能性がより高い。
bb	日本の中堅・中小企業間の比較において、債務を履行する能力がやや脆弱である。事業環境、財務状況、または経済状況の悪化に対して大きな不確実性、脆弱性を有しており、状況によっては債務を期日通りに履行する能力が不十分となる可能性がある。
b	日本の中堅・中小企業間の比較において、債務を履行する能力が脆弱である。事業環境、財務状況、または経済状況が悪化した場合には、債務を履行する能力や意思が損なわれやすい。
ccc	日本の中堅・中小企業間の比較において、債務者は現時点で脆弱であり、その債務の履行は、良好な事業環境、財務状況、および経済状況に依存している。事業環境、財務状況、または経済状況が悪化した場合には、債務を履行できない可能性が高い。